

令和6年5月吉日

主催：フィールドの達人企画委員会
共催：一般社団法人 日本応用地質学会

「令和6年度 応用地質技術実践講座」開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

フィールドの達人企画委員会ならびに日本応用地質学会では、若手～中堅技術者を対象に技術伝承や現場を中心とした地質調査・解析技術力の向上を目的として、平成26年度から「応用地質技術実践講座」を企画・開催しております。

本講座は応用地質技術に深く関わる「地下水」「土木地質」「災害地質」「地形」の4つの分野に関して、その調査解析技術・手法について講師・受講者間で議論を深め、各テーマの根幹となる考え方を実践的に学ぶ内容としています。幸いなことに講座を受講された皆さまからも好評をいただいています。

今年度は「土木地質」をテーマとして、その基本となる『岩盤分類』を中心に調査解析技術・手法の基礎から応用まで学べる講座を企画しています。岩盤分類はダム地質の分野を中心とした基礎技術ですが、ダムに限らず全ての構造物基礎を評価するために必要な要素です。

座学では、岩盤分類の基本思想や歴史、地質工学的評価の基本を分かりやすく講義いたします。また、実務担当者による事例紹介や設計・施工技術者による話題提供もプログラムに加え、調査・設計・施工時における「地質技術者の役割」「事業への関わり方」についても学ぶことのできる内容としています。

現場研修（新丸山ダム建設現場を予定）では、ボーリングコア・掘削面を対象に観察・記載から成果のとりまとめまでの一連の作業を経験いただくことで、参考書やマニュアルでは学ぶことのできない「実務に活かせる技術」の習得を目指していただきます。

なお、座学および現場研修の講師は実務経験の豊富な技術者や、応用地質学会の土木地質研究部会のメンバーが担当します。受講者の皆さまが日々の業務を通じて感じている疑問や直面している課題について、その解決の糸口を見出していただけると幸いです。

近年は現場における実践的な教育訓練の場が減少しており、若手技術者への技術伝承を課題としている企業も多いかと存じます。つきましては、この好機をとらえまして、地質技術職員の積極的な参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

敬具

1. 日 時：第 1 回（座学・現場研修） 7 月 19 日(金)
第 2 回（座学・現場研修） 9 月 25 日(水)～9 月 27 日(金)

2. 場 所：

座 学：八千代エンジニアリング(株) 東京都台東区浅草橋 5-20-8 16 階会議室
現場研修：国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム

3. 目 的：技術伝承、中堅・若手技術者を対象とした地質調査・解析技術力の向上

4. 定 員：20 名

5. 募集対象：実務経験 3～10 年程度の方。

6. 募集条件：原則として全 2 回に出席できる方を募集しています。勤務先にて業務の調整を行っていただきますよう、ご協力をお願いします。

7. 参 加 費：応用地質学会員：25,000 円、非会員：30,000 円（**現場研修に係る費は別途徴収**）
※参加費は会場費・テキストの印刷費等に充当し、余った場合は現場研修にかかる費用に補填します。

お支払いは以下の口座にお振込みください。

振込先金融機関	りそな銀行 秋葉原支店
振込先口座番号	(普) 1977805
振込先口座名義	フィールドの達人企画委員会

※現場研修にかかる費用は 25,000 円程度を予定しています（宿泊・移動費用等に充当）。

現地までの交通費は各自でご負担願います（詳細行程は後日お知らせします）。

※やむを得ない事情にて第 2 回を欠席した場合も返金はいたしかねます。

8. 申込締切：令和 6 年 6 月 28 日(金)

申込人数が定員になった場合は、その時点で締め切らせていただきます。

9. 申込方法：<https://forms.gle/j6qbmGTnu9Xa2Gqi7>

からお申込みください。**締め切り：6/28（金）**

※右の二次元バーコードからもアクセス可能です。

※上記フォームから申込みが出来ない場合は問合せ先までご連絡ください。



10. C P D：Geo-SchoolingNet にて登録・発行いたします。

11. 申し込み先・問い合わせ先：

フィールドの達人企画委員会 事務局 高野 征宣

〒111-8648 東京都台東区浅草橋 5-20-8（八千代エンジニアリング(株)内）

E-mail：jissen-kouza@geologist-jp.net

TEL：03-5822-6849

【実践講座の内容】

第 1 回

座学 7月19日(金)

会場：八千代エンジニアリング(株) 東京都台東区浅草橋 5-20-8 16 階会議室

講義内容・タイムスケジュール (案)

タイムスケジュール		講義内容	講師
9:50~10:00	0.16h	講座の開催にあたって	大石 朗 ^{※1}
10:00~11:15	1.25h	岩盤分類の考え方	磯村 敬 ^{※1}
11:15~12:30	1.25h	地質工学的なモノの見方	大石 朗 ^{※1}
12:30~13:30	1.00h	昼食休憩	—
13:30~14:15	0.75h	設計技術者の立場から話題提供	栗飯原 稔 ^{※4}
14:15~15:00	0.75h	施工技術者の立場から話題提供	片山 政弘 ^{※2}
15:00~15:10	0.16h	休憩	—
15:10~16:10	1.00h	土木地質に関するトピック 3 題 ・建設発生土の見立て方 ・成瀬ダムにおける岩盤分類 ・エラー事例	長谷川 怜思 ^{※2} 細野 貴裕 ^{※1} 清水 公二 ^{※3}
16:10~16:25	0.25h	技術者マッピングについて	清水 公二 ^{※3}
16:25~16:35	0.16h	休憩	—
16:35~17:35	1.00h	総合討論	奥田 英治 ^{※1}
17:35~17:50	0.25h	現場実習ガイダンス	寺田 貴俊 ^{※2}
18:00~		意見交換会	—

※1：フィールドの達人企画委員会

※2：応用地質学会 土木地質研究部会

※3：応用地質学会 教育普及委員会

※4：八千代エンジニアリング (株)

第2回

現場研修 9月25日(水)～27日(金)

場所：国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム、B&G 海洋センター（調整中）

実習内容・タイムスケジュール（案）

タイムスケジュール			内容	講師あるいは実習場所
25日	13:00～17:00	4.0h	ボーリングコア観察実習	新丸山ダム建設現場
26日	8:30～12:30	4.0h	掘削面スケッチ実習	新丸山ダム建設現場
	12:30～13:30	1.0h	昼食休憩	—
	13:30～15:00	1.5h	建設発生土処理施設の見学	新丸山ダム建設現場
	15:00～17:00	2.0h	ボーリングコア観察実習	新丸山ダム建設現場
27日	9:00～12:00	3.0h	現場実習総括(班ごとに発表)	B&G 海洋センター

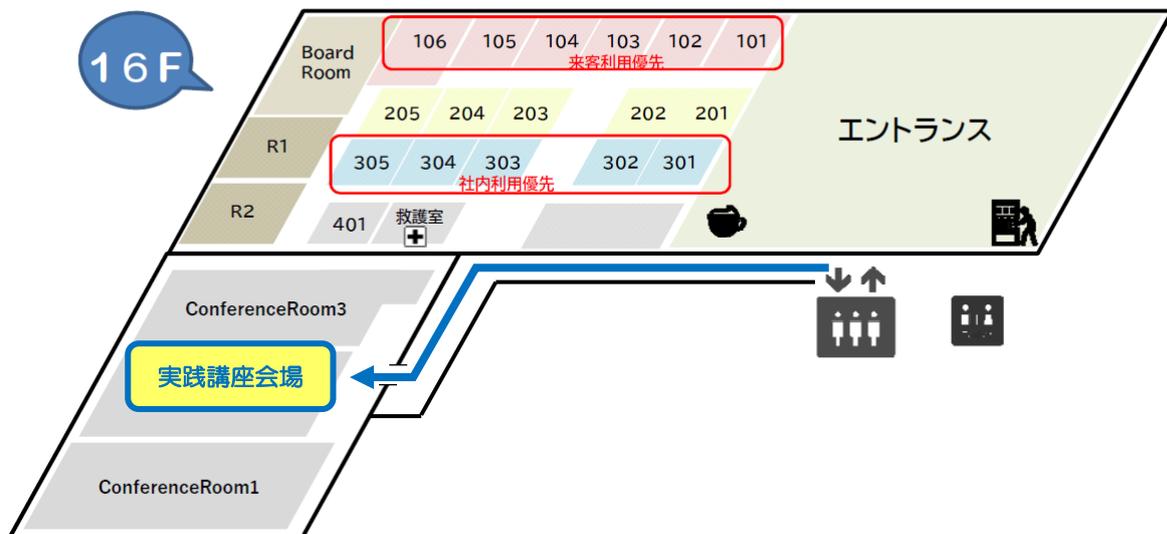
会 場 案 内 図

会 場：八千代エンジニアリング株式会社
 東京都台東区浅草橋 5-20-8 CSタワー 16F 会議室
 受付場所：会場と同じ
 受付開始：7/19（金）9:30～



交 通：JR 中央線・都営浅草線「浅草橋駅」西口より徒歩 9 分
 JR 山手線「秋葉原駅」昭和通り口より徒歩 10 分
 都営大江戸線「新御徒町駅」A2 出口より徒歩 9 分
 東京メトロ日比谷線「秋葉原駅」1 番出口より徒歩 10 分

【会議室案内図】



※会場の 16 階には、1 階ホールの奥側（東側）にある高層階用エレベーターを使って上がってください。